
平成20年度 地方公営企業等金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

1. 平成20年度決算のポイント

当機構設立後、初の決算であり、経理処理等については、原則として企業会計原則による。なお、公営企業健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤については、関係法令の規定により経理処理。

会計期間は、平成20年8月1日から平成21年3月31日まで。

経常利益1,306億円、特別損益 1,102億円との差額**204億円の当期純利益**を計上。このうち、一般勘定12億円、管理勘定191億円。

資産総額は貸付金等23兆3,696億円、負債総額は債券等23兆3,165億円、純資産総額は出資金等530億円を計上。

(注)「管理勘定」とは公庫債権管理業務(公営公庫が貸し付けた資金に係る債権の管理及び回収業務並びにその付帯業務)に係る勘定であり、「一般勘定」とは公庫債権管理業務以外の業務に係る勘定である。

2. 機構全体の損益の状況

貸付金利息等の資金運用収益が債券利息等の資金調達費用を上回ったこと等により、**経常利益は1,306億円**。
 特別利益(準備金・積立金取崩し)3,078億円、特別損失(準備金繰入・国庫納付)4,181億円を計上したため、
特別損益は 1,102億円。
 したがって、**当期純利益は204億円**。

経常収益 2,913億円		経常費用 1,606億円
資金運用収益 2,912億円 その他 0.4億円		資金調達費用 1,552億円 役務取引等費用 1億円 その他業務費用 22億円 営業経費 12億円 その他経常費用 18億円
特別利益 3,078億円	経常利益 (-) 1,306億円	特別損失 4,181億円
公庫債権金利変動準備金 取崩額 3,000億円 利差補てん積立金取崩額 78億円	特別損益 (-) 1,102億円	公庫債権金利変動準備金 繰入額 1,181億円 国庫納付金 3,000億円
		当期純利益 204億円

2-a. 一般勘定の損益の状況

余資運用益等の経常収益が債券利息等の資金調達費用や営業経費等の経常費用を上回ったこと等により、**経常利益は12億円。**

特別損益等を計上していないため、**当期純利益は12億円。**

経常収益		経常費用	
<u>178億円</u>		<u>165億円</u>	
資金運用収益	50億円	資金調達費用	5億円
その他	0.4億円	その他業務費用	4億円
		営業経費	11億円
		その他経常費用	18億円
		管理勘定借支払利息*3	21億円
管理勘定事務受託費*1	5億円	公営企業健全化基金 管理勘定繰出金*4	103億円
公営企業健全化基金 受取利息*2	121億円		
経常利益 - 12億円		当期純利益 12億円	

- (注)*1 管理勘定事務受託費とは、機構の運営経費を一般勘定に一元化して支出することにより、管理勘定の管理に要する費用を管理勘定から受け入れたもの。管理勘定の経常費用に一般勘定事務委託費として同額を計上。
- *2 公営企業健全化基金受取利息とは、同基金に属する現金を管理勘定に融通することにより、その運用利息を管理勘定から受け入れたもの。管理勘定の経常費用に公営企業健全化基金支払利息として同額を計上。
- *3 管理勘定借支払利息とは、管理勘定に属する現金を一般勘定に融通することにより、その運用利息を管理勘定へ支払ったもの。管理勘定の経常収益に一般勘定貸受取利息として同額を計上。
- *4 公営企業健全化基金管理勘定繰出金とは、公庫貸付に係る利下げ費用(基金分)を管理勘定に繰り出したもの。管理勘定の経常収益に公営企業健全化基金一般勘定繰入金として同額を計上。

2-b. 管理勘定の損益の状況

貸付金利息等の資金運用収益が債券利息等の資金調達費用を上回ったこと等により、**経常利益は1,294億円**。
 特別利益(準備金・積立金取崩し)3,078億円、特別損失(準備金繰入・国庫納付)4,181億円を計上したため、
特別損益は 1,102億円。
 したがって、**当期純利益は191億円**。

<p style="text-align: center;">経常収益 2,987億円</p> <p>資金運用収益 2,862億円</p> <hr style="border-top: 1px dashed green;"/> <p>一般勘定貸受取利息* 21億円</p> <p>公営企業健全化基金 一般勘定繰入金* 103億円</p>	<p>勘定間融通</p>	<p style="text-align: center;">経常費用 1,693億円</p> <p>資金調達費用 1,546億円 役務取引等費用 1億円 その他業務費用 17億円 営業経費 0.9億円</p> <hr style="border-top: 1px dashed green;"/> <p>一般勘定事務委託費* 5億円 公営企業健全化基金 支払利息* 121億円</p>
<p style="text-align: center;">特別利益 3,078億円</p> <p>公庫債権金利変動準備金 取崩額 3,000億円</p> <p>利差補てん積立金取崩額 78億円</p>	<p>経常利益 - 1,294億円</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>特別損益(-) 1,102億円</p>	<p style="text-align: center;">特別損失 4,181億円</p> <p>公庫債権金利変動準備金 繰入額 1,181億円</p> <p>国庫納付金 3,000億円</p>
		<p>当期純利益 191億円</p>

(注) *を付した科目については、「2-a.一般勘定の損益の状況」の(注)を参照のこと。

3. 資産の状況

平成20年10月1日に、公営公庫から23兆9,044億円の資産を承継。
平成21年3月31日現在の資産総額は23兆3,696億円で、承継額より5,348億円減少。
資産のほとんどを占める貸付金について新規貸付額よりも回収額が2,433億円上回ったこと、余資運用としての有価証券・現金預け金が2,944億円減少したこと等が要因。

【平成20年10月1日承継額】

貸付金	22兆4,586億円
有価証券	1兆3,470億円
現金預け金	778億円
その他資産	171億円
有形固定資産	30億円
無形固定資産	6億円
合計 23兆9,044億円	



5,348億円 減少

【平成21年3月31日現在】

貸付金	22兆2,152億円
有価証券	8,748億円
現金預け金	2,555億円
その他資産	200億円
有形固定資産	30億円
無形固定資産	8億円
合計 23兆3,696億円	

4. 負債の状況

平成20年10月1日に、公営公庫から23兆8,883億円の負債を承継。
 平成21年3月31日現在の負債総額は23兆3,165億円で、承継額より5,718億円減少。
 負債の大半を占める債券について新規発行額よりも償還額が3,634億円上回ったこと、公庫債権金利変動準備金について3,000億円を国庫納付したこと等が要因。

【平成20年10月1日承継額】

債 券	19兆3,392億円
公営企業健全化基金	9,033億円
金利変動準備金	2,200億円
公庫債権金利変動準備金	3兆2,565億円
利差補てん積立金	1,367億円
その他	323億円
合計	23兆8,883億円



5,718億円 減少

【平成21年3月31日現在】

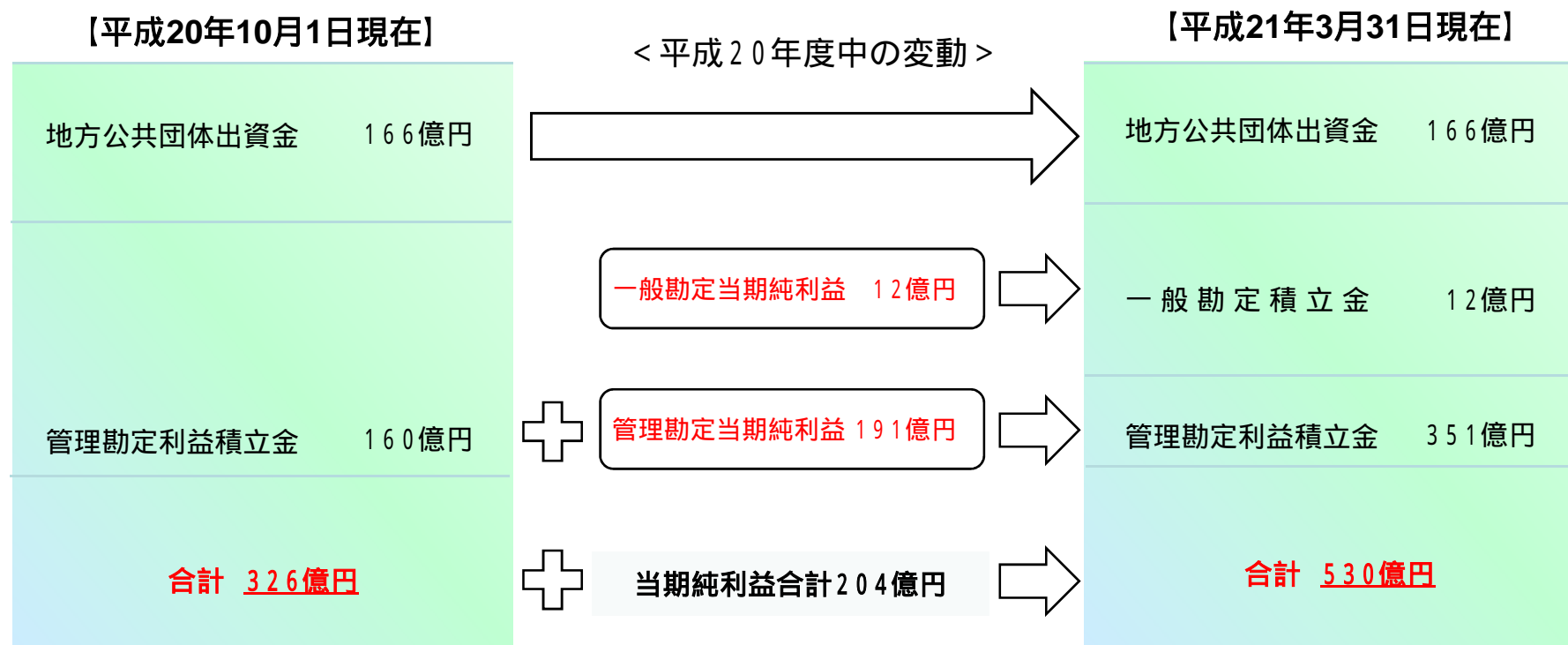
債 券	18兆9,781億円
公営企業健全化基金	8,946億円
金利変動準備金	2,200億円
公庫債権金利変動準備金	3兆747億円
利差補てん積立金	1,288億円
その他	200億円
合計	23兆3,165億円

5. 純資産の状況

平成20年10月1日現在の純資産総額は、地方公共団体出資金166億円、公営公庫から承継した管理勘定利益積立金160億円の合計326億円。

平成20年度における一般勘定の当期純利益12億円、管理勘定の当期純利益191億円をそれぞれ「一般勘定積立金」、「管理勘定利益積立金」として整理。

この結果、平成21年3月31日現在の純資産総額は530億円。



(参考) 平成20年度決算における主要勘定の状況

(単位:億円)

【貸付金】

承継額	貸付額	回収額	期末残高 + -
224,586	4,753	7,186	222,152

【債券】

承継額	発行額	償還額	期末残高 + -
193,392	8,796	12,408	189,781

【公営企業健全化基金】

承継額	納付金 還付額	基金 運用益	利下げ補て ん所要額	期末残高 - + -
9,033	104	121	103	8,946

【利差補てん積立金】

承継額	取崩額	期末残高 -
1,367	78	1,288

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	承継額	公庫貸付に係る 利下げ所要額	公営企業 債券借換益	国庫納付	期末残高 + + -
金利変動準備金	2,200	-	-	-	2,200
公庫債権金利変動準備金	32,565	103	1,077	3,000	30,747